



# 経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる患者様へ ～入院診療計画書～

氏名		様		病名: 膀胱癌	症状: 血尿・その他	年	月	日
経過	 入院時 手術前日		<b>手術</b> 手術には 時 分にいきます					 退院日
			手術当日 手術前 手術後		術後1日目	術後2～3日		
月日								退院日は患者様によって異なります
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術について理解し、準備が整っている。</li> <li>安心して手術に臨むことができる。</li> </ul>		<b>【手術後】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>痛みが最小限で過ごすことができる。</li> <li>血尿による尿管の閉塞がなく経過する。</li> <li>尿管を抜いた後、排尿がある。</li> <li>残尿感、残尿がない。</li> </ul>				<b>【退院基準】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>残尿が無い。</li> <li>発熱が無い。</li> </ul>	
目標	不安なく手術を受けられるようゆっくり休みましょう 心配事や眠れないときは早めに看護師に知らせましょう		管のいずさや痛み吐き気等つらい症状があるときは 看護師に知らせましょう 歩行許可が出たらがんばって歩きましょう		尿道カテーテルを抜いた後、血尿や変だなと感じたら早めにお知らせ下さい			
食事	 通常食です (食事制限がある方は制限食)		 朝昼食べられません		看護師が麻酔が覚めたことを確認 後飲水・食事が可能となります		 水分は多めに摂るよう心がけましょう	
安静度	 制限はありません		手術室には歩いて向かいます。歩けない方は移送車で向かいます。		帰室後はベッド上安静、麻酔がさめたら 医師の指示で歩行可能となります			
排泄	 尿を溜める必要はありません		 状態を見て座薬をします		手術中に尿道カテーテルが入ります。 また、管の閉塞を防ぐため洗浄する場合があります 		血尿の状態をみて午前中の回診で尿道カテーテルを 抜きます。 尿道カテーテルを抜いた後の1回目の尿はカップに とって見せて下さい。翌日退院です。	
清潔	 入浴しましょう		安静のため入浴はできません		身体を拭きます 		シャワー浴出来ます 	
内服薬 点滴	 内服薬を確認します		 薬剤師より薬について 説明があります		時常用薬を飲みます 時頃点滴をします		★手術中抗菌薬の点滴をします ★痛い時は痛み止めを使用します ★痛い時は我慢せずお伝え下さい ★食事が開始になると 内服薬も開始します。	
					★常用薬(抗凝固剤)は医師の指示で再開になります		 退院時服薬指導 (薬剤師) 	
	時以降食べられません		時以降水分はとらないでください					
検査					酸素吸入をします 心電図モニターを装着します			
説明・指導	 入院、手術の流れ を説明します		 麻酔科医による麻酔 説明があります		 <b>注意</b> 貴重品は家族又は金庫に保管して下さい 眼鏡、入れ歯、指輪、カツラ等ははずします(補聴器はつけたままで行きます) 御家族の方は手術中病棟内でお待ち下さい		術後説明 	
	特別な栄養管理の必要性 有・無				40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的 な機能評価を行う場合があります。		退院後の治療に ついて説明します 組織の結果は 外来でお話します	
備考	 何かわからないこと がある時はいつでも 申し出て下さい		<b>《手術に必要な物》</b> 平オムツ2～3枚 T字帯1枚		主治医: 印 看護士: 主治医以外の担当者 薬剤師: 栄養士:		旭川赤十字病院3階きた病棟 	